

平成24年度 技術士第二次試験準備講習会

稲村 貴志

1. はじめに

平成24年6月30日(土)13:00～17:00、愛媛大学工学部総合研究棟Ⅱの26番講義室において、『土木学会四国支部愛媛地区部会』並びに『愛媛大学理工学研究科生産環境工学専攻環境建設工学コース』の共催を頂き、平成24年度技術士第二次試験準備講習会を開催致しました。参加者は受講者6名、講師4名、グループ討議指導者6名(須賀会長、吉村副会長、下元、国土、吉岡、稲村)の合計16名にて実施いたしました。

技術士試験の出題傾向や技術士制度、試験概要の説明を行うとともに、平成23年度新合格者3名から貴重な体験談を頂きました。また、それらをもとにグループ討議を行い、講習内容の質疑応答や普段から疑問に思っている点について活発な討論を行うことができました。



2. セミナー内容

1) 開催挨拶(13:00～13:10) 【吉村副会長】

2) 技術士第二次試験とその対策(13:10～14:20)

【講師：山本和宏氏(農業部門、総合監理技術部門)】

インターネットの技術士受験を応援するサイト『SUKIYAKI 塾』でもご活躍の山本氏をお呼びし、以下のプログラムでご講演頂きました。

1. 技術士とは(技術士法、義務と責務など)
2. 技術士第二次試験結果(受験者数、合格率など)
3. 技術士試験制度(試験内容、スケジュール、合否基準、応用能力、論理的考察力、課題解決能力など)
4. 論文作成の原理(論文の基本構成、骨子法など)
5. 専門論文対策(出題傾向、東日本大震災や防災、地球温暖化、最近のトピック、キーワードなど)
6. 一般論文対策(出題形式、論文構成、出題パターン、PREPの法則、論文作成順序、東日本大震災等の要点など)
7. 論文作成時の一般的留意点(文章作成ルール、分かり易い表現など)



8. 技術的体験論文対策(問題形式、テーマ選定、書き方、図表)

出題傾向が専門知識を問う問題から、応用能力や課題解決能力、論理的考察力を問う問題に変わってきていること。また、論文の作成方法、構成や組み立て方、テクニックなどのお話を頂き、大変興味深く、受講者にとって有意義なものとなったと確信致しております。

3) 平成23年度合格者体験談(14:30~15:30)

3名の方から貴重な体験談のご報告を頂きました。

【曾我部 潤 (応用理学部門：地質)】

ご自身の経歴等を紹介された後に、受験の動機から受験勉強の方法、筆記試験・口頭試験の準備、対策方法など詳しいお話を頂きました。勉強時間はすきま時間を利用し、日々の業務の中で、課題や問題点を整理することを実施されたそうです。また、「技術士とは」「技術士に求められること」を意識することが合格するために必要とお話いただきました。さらに、論文の作成にあたっては、骨子法が有効であったことなど、論文作成のテクニック、書き方なども大変分かり易くご説明いただきました。



【岡田 拓也 (建設部門：道路)】

ご経歴等を紹介された後で、試験対策、筆記試験で実践したこと、技術的体験論文および口頭試験対策等のお話をいただきました。なかでも、筆記試験で実践されたこととして、問題文を一読して、関連する語句や数字を問題用紙の余白に書く。その後、問題文を熟読して、題意を把握し、選択する問題を決定されたそうです。また、答案構成としては、①はじめに、②課題、③課題に対する解決策、④終わりにの4部構成とし、③では、解決策をいきなり書くのではなく、課題を解決する際に支障となっている問題点を記述することを心がけられたそうです。具体的な論文作成方法など、受験者にとっても大変有意義な発表だったのではないかと思います。



【片岡 公一（建設部門：道路、農業部門：農業土木）】

片岡様は、平成22年に建設部門、平成23年に農業部門を続けて合格されておられます。はじめて技術士を合格した年の前後で対策、準備を変更された点として、論文の書き方を挙げられておられました。論文構成として骨子法などの手法を取り入れたこと。また、論文作成の際にすぐに回答するのではなく、30分程度構成を考えてから書き始め、題意に沿った回答を心がけることで、連続合格に繋がったそうです。建設部門、農業部門の両方を合格された技術士として、貴重な意見を頂けたと思います。



4) グループ討議(15:40～16:55)

2つの班に分かれ、講演者を含めてスタッフが1班に4～5名程度とほとんどマンツーマンで討議を行いました。

まず、自己紹介を行い、講習内容について質疑応答、日頃から心配な点や疑問点について各講師がアドバイスする形で行いました。討議の中では、受講者から『経歴書を記入する際の注意事項』『業務などが忙しく勉強する時間がとれないのですが、どのように効率的に勉強したらよいのでしょうか。』『あなたの意見を述べよという質問に対して、どの程度自分の意見を反映すべきなのでしょう。』などの質問がありました。技術士がそれぞれの体験をもとに質問に答え、活発な意見交換が受講者にとって有意義だったのではないかと思います。

5) 閉会挨拶(16:55～17:00) 【須賀会長】

3. 終わりに

本年度の講習会は毎年恒例となっていますが、今年度から講習会費を減額したことで、受験者が講習会に参加しやすくなったのではないかと思います。これからも、愛媛県技術士会では、この講習会の周知徹底を図り、地域社会に必要な技術士を確保することを目的に、当該セミナーを開催し続けて行く所存であります。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成24年度技術士第二次試験受験講習会 アンケート結果

各項目に○をおつけ下さい。

1. 講習会を何で知りましたか。

- ①社内・学内の連絡 . . . 3名
- ②知人の紹介 2名
- ③公共施設の掲示板 0名
- ④その他 1名(総会)

2. プログラムの内容についての感想

(1) 『技術士第二次試験とその対策』について

複数回答あり

- ①勉強のポイントが分かった . . . 5名
- ②論文作成の参考になった . . . 3名
- ③解りづらかった 0名
- ④特になし・⑤その他 0名

(2) 『合格体験談』について

- ①非常に参考になった 4名
- ②勉強方法が分かった 2名
- ③他部門も聞きたかった 0名
- ④特になし 0名
- ⑤その他 0名

(3) 『グループ討議』について

- ①非常に参考になった 6名
- ②より細かいところが聞けた . . . 1名
- ③特になし・④その他 0名

(4) 『テキスト』について

- ①内容がよくまとめられていた . . 3名
- ②わかりやすかった 5名
- ③内容の重複箇所が多い 0名
- ④特になし・⑤その他 0名

(5) 『開催時期』について

- ①適当である 1名
- ②早い時期がよい(4、5月頃) . . . 5名
- ③遅い時期がよい 0名
- ④その他 0名

(6) 『セミナー参加費』について

- ①費用は適当である 4名
- ②やや高いと思う 0名
- ③やや安いと思う 2名
- ④その他 0名

3. 今後のセミナーで希望すること、その他のご意見がありましたら下欄にお書きください。

論文の作成方法として骨子法の実習を行って欲しい。